

小見川駅周辺地区 都市再生整備計画事業  
事後評価シート

平成31年3月

千葉県 香取市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県	市町村名	香取市	地区名	小見川駅周辺地区	面積	193ha					
交付期間	平成24年度～29年度	事後評価実施時期	H30	交付対象事業費	625.7百万円	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路:小見川駅前広場 地域生活基盤施設:小見川駅自転車駐車場、小見川駅前駐車場									
		提案事業	地域創造支援事業:多目的マップ・誘導サイン整備事業 まちづくり活動推進事業:小見川にぎわい事業									
	当初計画から削除した	基幹事業	なし									
		提案事業	なし									
	新たに追加した事業	基幹事業	高質空間形成施設:石張舗装、照明施設			【石張舗装】駅前広場の環境空間及びそこに連続する歩道空間について、水の流れをイメージさせる舗装パターンを石張等により展開するため追加する。 【照明施設】駅前広場の環境空間は、地域イベントの他、大規模災害時の給水等の作業も想定しており、停電時の夜間照明確保のため、ソーラーLED照明施設を追加する。		石張舗装は地域特性を活かす空間創出をするため、計画目標の実現に資すること、照明施設は平時は通常の歩道照明の役割を担うことから、影響は生じない。				
		提案事業	事業活用調査:事業効果分析調査事業 まちづくり活動推進事業:ワークショップ運営事業			【事業効果分析調査事業】実施事業の発現を調査分析し、今後のまちづくりのあり方を検討するため、追加する。 【ワークショップ運営事業】多目的マップ作成等にあたり、単なる観光資源の紹介にとどまらず、衰退する商店街の活性化につながるマップとするため、専門家を交えたワークショップを立ち上げ、内容検討するため、追加する。		事業効果の分析調査のみ、また、ワークショップ運営事業は地域創造支援事業で実施する多目的マップ等の内容検討方法の変更のみであり、影響は生じない。				
交付期間の変更	当初変更	平成24年度～28年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			
	指標1	駅前広場利用者満足度調査	点/人	40.0	H23	52.0	H28	68.8	○	あり なし	駅前広場及び駐車場の周辺施設の整備を一体的に行ったことで、駅前広場の小見川の玄関口としてのふさわしさ、また駅前広場の清潔感や安全性など、あらゆる面で小見川駅前広場利用者の満足度向上に貢献した。	
	指標2	小見川への来街者数	万人/年	37.9	H22	41.7	H28	37.9	△	あり なし	目標達成には至らなかったが、小見川にぎわい事業により「小見川祇園祭」を充実することで来街者が増加傾向にあるほか、多目的マップや誘導サイン整備により、地区のPRや回遊性の向上が図られつつあることから一定の効果が現れている。	2019年5月
	指標3									あり なし		
指標4									あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			
	その他の数値指標1											
その他の数値指標2												
その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	2018年8月に小見川駅利用者を対象に実施したアンケート調査では、自由意見として、駅前広場が利用しやすくなった、きれいになって良かった、といった意見が多く寄せられている。駅前広場整備後、隣接する神栖市が小見川駅を目的地にしたコミュニティバス(1日3便、実施期間:1年間)の社会実験を開始するなど、駅前の利便性が高まった効果が現れつつある。											
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等	
	モニタリング						都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	住民参加プロセス	ワークショップ運営事業(香取市小見川地区「まち自慢」ワークショップ) 地域自慢の必要性についての講演会、フィールドワーク(まち歩き)、地図(多目的マップ)の作成検討などを実施					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					○ 観光客、来訪客増加につながる地図(多目的マップ)の活用方法を検討していく
持続的なまちづくり体制の構築						都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

## 様式2-2 地区の概要

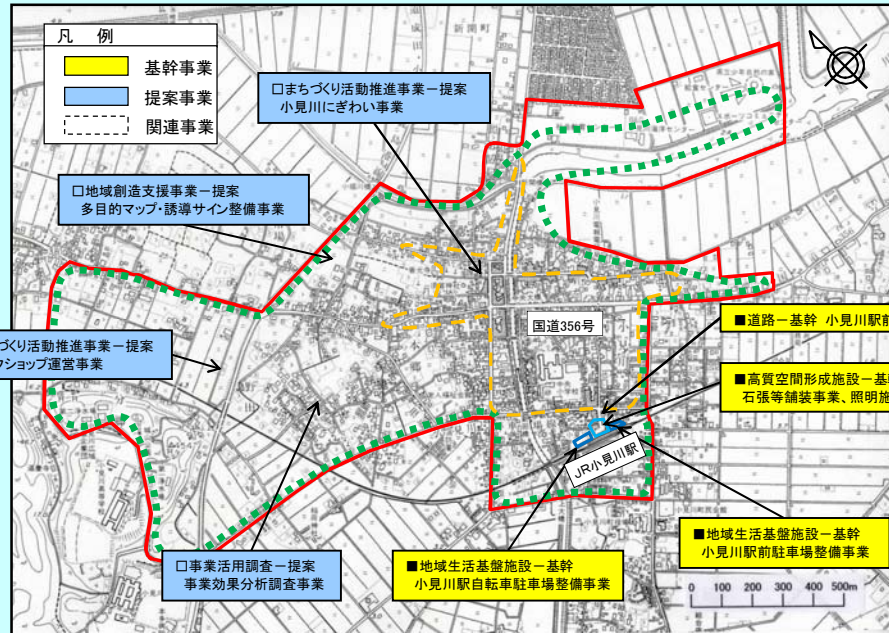
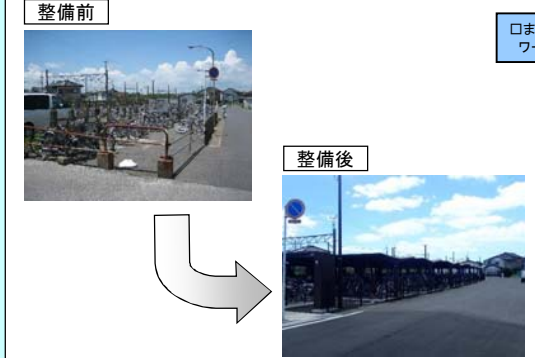
### 小見川駅周辺地区(千葉県香取市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:道路と鉄道の交通結節点の機能向上を図り、地域資源等の活用と情報発信機能の強化により、交流人口の拡大を促し、都市再生を目指す。 目標1:市の副拠点として、駅周辺の機能を改善し、市民や来街者の利便性と景観の向上を図る。 目標2:恵まれた自然環境や歴史的資源を活用し地域の文化を中心としたイベントや行事等を支援し、その情報発信をし、市民や来街者の憩いや交流の場を創出することで交流人口の拡大を図る。	駅前広場利用者満足度調査	単位:点/人	40.0 H23	52.0 H28	68.8 H30
	小見川への来街者数	単位:万人/年	37.9 H22	41.7 H28	37.9 H28

#### 【多目的マップ・誘導サイン整備事業】



#### 【小見川駅自転車駐車場整備事業】



#### 【小見川駅前広場整備事業】



#### 【小見川駅前駐車場整備事業】



まちの課題

- ・小見川地域は、世帯数は増加しているが、定住人口の減少、少子高齢化が進行している。
- ・小見川市街地における商業地は、道路沿道や黒部川に沿って線的に形成されているが、商店の閉店等により、線から点に変わりつつあり、市街地の生活を支える商店街機能が低下している。
- ・小見川地域には、交流人口を呼び込む集客力の高い観光拠点がいないため、自然環境や歴史的資源を活かした観光機能の充実による地域の活性化を図ることが必要。
- ・小見川駅周辺は玄関口として、来街者等へのサービス機能の充実と利用者の利便性の向上が求められている。
- ・地域文化を中心としたイベント等を充実し、交流人口の拡大が求められている。

まちの課題の変化

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

【効果を持続させるために行う方策】

- ・駅前広場利用者満足度を維持するための、広場の適切な維持管理…今後、駅前広場内の美化に努めるほか、周辺敷地内の美化を関係者に働きかけることで利用者の満足度を上げていく。
- ・観光客に地区内を回遊してもらうための、多目的マップの活用や地域資源の維持・保全…多目的マップが多くの観光客の手に渡るよう配布方法や配布場所の検討を行う。また、各種メディアやSNS等を活用して小見川地区の観光のPRを行う他、地区の資源を活かした回遊ルートを検討する。さらに、まだ活用されていない地域資源を発見し、地域の魅力を高めるための調査研究活動の実施を官民協働で検討する。

【改善策】

- ・小見川への来街者を増加するための、イベント活動の継続と改善…小見川にぎわい事業を継続し、小見川祇園祭の開催を支援するほか、必要に応じて小見川にぎわい事業の改善を検討する。また、各種イベント開催前に各種メディアやSNS等を活用して開催のお知らせを行うほか、小見川城山公園の花木や公園設備の充実を図る。
- ・小見川駅周辺の総合的な駐車対策…送迎・買い物、鉄道・バス利用など、目的に応じた駐車ニーズに対応するため、駐車場の確保等を検討する。
- ・定住人口の維持や少子高齢化対策…香取市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、各種の人口減少対策に取り組む。
- ・市街地の生活を支える商店街機能の維持・向上…空き店舗対策を進め商業の活性化を図る。また、既存商店街の価値を引き継ぎ、事業を継続し、空き店舗化を防ぐため、事業承継を推進する。